



◇談論風発・異種触発モードで

東ト協・東ト人材財団常務理事 内村 修三

三組織の事務局を担当して、はや4年が過ぎました。協会において私は、主に人材養成事業と交付金事業会計を担当しております。思い出しますと協会に勤務する直前、NHKの特集で「トラック列島3万キロ」の放映がありました。トラックドライバーの過酷な日常を描いたドキュメンタリー番組で、家族で偶然それを見たのですが、規制緩和のもと同業者間の激しい競争にさらされていることや、ジャスト・イン・タイムの言葉に代表される荷主の優越的な立場からの要請、そしてそれに対応しようと厳しい労働環境と低賃金で、家庭生活も犠牲にして懸命に働くトラックドライバーの皆さんの実情を知って大変驚かされました。それというのは以前、築地市場に4年ほど勤務し、トラック輸送が国民生活の重要なインフラであるとともに、ワールドチェーンや宅配の事例のように、物流事業は装備の高度化やサービスの向上が進み事業の採算も悪くないと思っていましたので、それとのギャップに愕然としたのです。いわば諸々のツケをトラックドライバー個人に押しつけるこのような流通社会のありかたは理不尽であり、結果として事故の多発など大きな社会的損失をもたらすことになるのではないかと、そして消費者も実情を知らず変わると感じたことを思い出します。その後もこの状況がなかなか好転して行かないのは悔しい限りではありますが、微力ながらも協会事業を通じて少しでも協会・会員のために役立てるよう努力していきたいと思っています。

ところで趣味についてですが、音楽が好きで学生時代からギターを弾いております。歌は小椋桂や井上陽水、演奏はポップスやボサノバが好みで、幾つかバンドにも参加いたしました。今でもたまにピアノなどをバックにギターの弾き語りや歌う機会があり、一人一芸のおもいでこれからも精進していきたいと考えております。

結びとしまして、三組織においてはこれからも連携を深め、談論風発・異種触発モードで力強く発展されることを祈っております。

◇ロジ研壮年部長随想リレー

中央支部壮年部長 下川 悟〔(株)プライム物流〕

私は此処半年で感じる事があります。世間では百年に一度の世界恐慌と言われている状況、またバブルがはじけた後の景気後退のスピードとは比較にならない速さで後退している現在を見て、感じて、我が業界に置換えて見ると色々な問題が山積していることを感じます。

その中でも、会社の財務状況が健全でなければ何も出来ないと感じています。財務が健全であるためには、会社の色々な管理・分析が出来ているから健全であると思います。管理が出来ているとは、管理知識があるから管理が出来る、その管理情報より分析知識があるから分析が出来る、分析結果をふまえて決断し実行して行く事が出来る会社が財務の健全な会社であると思います。

財務健全化をする為に、経営陣だけが理解して決断・実行しても、中間管理職や現場の責任者などが理解出来ないという結果が出るまでに時間が、かかる事が多いと思います。

今の時代はスピードがものすごく早いですので、スピードを合わせるには経営陣はもちろんのこと、中間管理職や現場責任者が経営陣の決断・指示した事を理解出来るよう教育し、時代スピードに会社として反応できるようにする為に教育していかなければ、ならないと思います。

しかし、人の教育は子供にしても時間が掛かりますので、早く着手出来る会社が、勝ち残れると思います。

今、私は会社に関っている人たちが笑顔でいられる為には何をすればいいのか、考え生きています。

色々と言いましたが、ロジ研を通して会員各社が良くなればと思っています。

《百文字のひろば》 下川 悟〔(株)プライム物流〕

人は其々考え方、物事の見方などそれぞれであるが、人と人の付き合い方が下手な人が多いように感じます。

もう少し相手を思いやり相手の立場に立ち尊敬し付き合いに行けば、世の中楽しくなるかと常々感じます。

商売も同様に思っていますが、自分の都合だけを主張する人が大変多く見えるのは私だけでしょうか。自分が考えている様に世の中、商売が出来ればと思いい日々生きて行ければいいなと思いい会社では、相手の立場に立ち考えてから言葉を発するようにしています。

皆さんは、いかがですか・・・

◇第3回オープンセミナー

副本部長・総務委員長 松本 有司〔台東支部 金方堂運輸(株)〕

最終回の今回は第1回、第2回の総括として、運送業の使命としての安全と安心、即ち「お客様の荷物を安全に輸送すること→お客様の安心」「安全運転、安全に係るコンプライアンス→社会の安心」「安全経営→経営者と従業員の安心」を実現するために人・物・金を如何に効果的に投資するかを再確認し、2回に渡った戦略会計手法の復習と、実例による応用計算を実習することで更に戦略会計の重要性を認識することが出来た。結論として担当レベルでは戦略会計の5つの要素であるP(単価)、V(変動費)、Q(数量)、F(固定費)、G(利益)について例えば省燃費運転によるVダウン、配車効率化によるQアップ等の個人別目標を設定し、経営者並びに管理者層は費用対効果を測定し、その優先度を確認し、実行計画スケジュールを策定実行すべきことを学んだ。

印象的であったのは戦略会計を適用する場合の単位の設定。1個当たりなら積荷個数、1台当たりならトラック台数等の単価×数量の単位を明確にすること。よくある話だが、運賃を引き下げられた場合、何台減車しなくてはならないか？を戦略会計手法にて逆算すること。又恥ずかしながら自社の固定費の明確な区分け方法に悩んでいたが「売っても売らなくても掛かる費用」「運んでも運ばなくても掛かる費用」と理解すればFは魔法のように整理することが出来た。

我々の業界は未曾有の難局に直面しているが「いち早く儲かっているのか、儲かっていないのか」を単位別に判断する必要性は益々高まっている。今回の唐沢先生も前回の中尾先生も「慣れれば暗算で計算できるよ」と仰ったが、小さな電卓を買ったのは私だけであろうか？今回でオープンセミナーは一応終了したが、ロジ研メンバーからの反響は大きく、年明けに戦略会計をゲーム化したマネジメントゲームのフォローアップ研修を追加実施することとなった。

◇臨時総会報告

平成20年12月3日にロジ研規約第12条により開催された臨時総会において、同規約第21条により、(社)東京都トラック協会ロジスティクス研究会規約が改正されましたのでお知らせします。

【規約改正趣旨】

ロジ研支部壮年部の設立推進及び、(財)東京都トラック運送事業人材養成等財団の支部研修活動助成金の活用等ロジ研活動活性化のために、ロジ研規約による支部設立人数制限を撤廃する。

【規約改正内容】(平成20年12月3日最終改正)

(改正前)	(改正後)
第20条 この会に、東ト協支部ごとに、 <u>会員5名以上をもって</u> 「ロジ研支部壮年部」をおく。ただし支部を設けるに至らない場合の会員は、本部に直接加入することができる。	第20条 この会に、東ト協支部ごとに、「ロジ研支部壮年部」をおく。ただし支部を設けるに至らない場合の会員は、本部に直接加入することができる。
2 ロジ研支部壮年部規約は本部規約に準じて支部ごとに決める。	2 ロジ研支部壮年部規約は、本部規約に準じて支部ごとに決める。
3 ロジ研支部壮年部にロジ研支部壮年部長をおく。	3 ロジ研支部壮年部にロジ研支部壮年部長をおく。

社団法人東京都トラック協会ロジスティクス研究会規約

附則(平成20年12月3日第22回総会)

- 改正後の規約は、平成20年12月3日から施行する。(支部壮年部設立要件の変更、5名を撤廃)

◇ロジ研スキルアップセミナー(フォローアップセミナー)のご案内

日時 平成21年1月17日(土) 9:30~17:00

場所 東京都トラック総合会館 7階会議室

お申し込みは1月8日(木)までに教育研修部へ

◇お知らせ《行事予定》

○1/20(火) 17:00~ 正副本部長会議(東ト総合会館6F小)

正副は、1/14からの変更です。

○1/17(土) 9:30~ スキルアップセミナー(東ト総合会館7F)

○2/4(水) 17:30~ 三組織セミナー・新年会(新宿京王プラザH)

○3/4(水) ロジ研フォーラム開催予定日